学校番号	1009

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（大修館）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばしてください。
・積極的に他者との関わりを持ち、伝える力や自分の思いや考えを深めてください。
・予習復習の課題を出します。必ず取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期テストは学習計画を立て臨むようにしてください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通りに育成する。
１、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
２、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたりすることができるようにする。
３、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに適切に使おうとしている。	文学的な文章や作品などを書いたり読んだりして、その内容や表現等を吟味することができる。 言葉の適切さや美しさなどを判断する感覚を洗練し、自らの言葉に対する感性を磨こうとしている。	言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりしようとしている。 言葉から様々なさまざまなことを感じたり、感じたことを言葉にしたりしようとしている。 言葉を通じて他者や社会とかかわり、自他の存在について理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	筆者のものの見方や感じ方を読み取り、想像したり共感したりしながら、自分自身の生き方を見つめる。 ［教材］ 「飛ぶことを知っている魂」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：粘り強く言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめ、発表しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ［教材］ 「山月記」	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	情景を伝えるために比喩やオノマトペを使って表現する。 ［教材］ 「情景を描写する」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引きつける独創的な文章になるよう工夫している。 c：・比喩や象徴、オノマトペなどの表現方法を用いながら、読み手の共感が得られる文章になるように工夫しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。 ［教材］ 「離さない」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
2	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ［教材］ 「山椒魚」	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c：粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	情景描写から自然と人間の関係をとらえる。 ［教材］ 「浄瑠璃寺の春」	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：文中で描かれる自然と人間の関係に興味をもち、情景描写をはじめとした表現を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

	韻文の表現や効果について理解を深める。 ［教材］ 「小景異情」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	特徴的なリズムや表現に気づき、それがどのような効果をもたらしているかを読み取る。 ［教材］ 「竹」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 c：進んで作品に表現された事柄を把握し、学習課題に沿って作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	詩の表現世界をとおして、作者の心情を読み取る。 ［教材］ 「永訣の朝」	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 ［教材］ 「心情を描写する」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：心情を生き生きと描写し、読み手の共感を得るためにふさわしい言葉や表現について吟味し、理解を深めようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
3	人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 ［教材］ 「こころ」	a：人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 ［教材］ 「檸檬」	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている c：登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	学んできたことを活用して、ショートストーリーを書く。		ワークシート	ワークシート	ワークシート

	［教材］ 「ショートストーリーを書く」	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b:[書]文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 c:これまでの学習内容を活用しながらショートストーリーを書き、他者からの指摘をもとによりよい文章を目指して修正しようとしている。			振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間